

観自在

弘長寺寺報
第二十一号
平成二十二年
八月(年
二回発行)

本堂耐震大改修決定

落慶円成に向け
さらなる寺檀一如の心を

弘長寺住職 森田裕光

本年四月三日の第二回建設委員会にて、着工を正式決定いたしました。

二十三年九月着工、二十四年五月完成となります。
二十四年十一月十八日(日)友引に、落慶並びに開關七百五十回大遠忌法要・住職結制・徒弟大裕法戦式を執り行いたいと存じます。

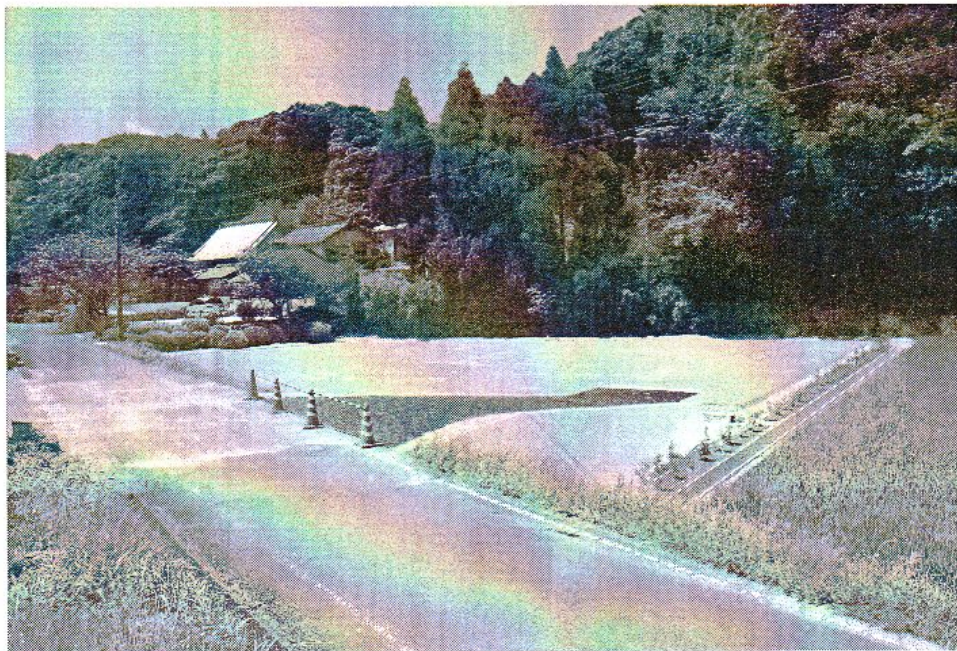
住職には、ご本尊様や歴代住職の方丈様方やお檀家皆様の先祖代々の仏様方が、この決定をお喜びになつておられるのはつきりと感じ取れます。

そして二百四十年前、素晴らしい材料を使って本堂を建てられ、今日までこの建物を維持することができた先人の信仰心の篤さと情熱に対し、改めて感謝の思いを深くしたところでございます。

ご希望のあった地区(鏡・浜東西・横見・中垣)への説明会を行い、各地区のご理解とご同意を得ました。
(さらにご要望があれば住職が喜んで出かけます)
そして五月二十六日には、御本山永平寺や浅草寺をは

じめ数えきれぬ程の寺社建築を手がけ、特に耐震建築では最新にして最高の技術を誇り、全国でも寺社建築の雄である(株)カナメとの正式契約も完了しました。

思えば、平成十二年島根東部地震にはじまり、平成十六年の中越地震や平成十九年の能登地震で急激に寺院の耐震が注目されるようになり、弘長寺本堂の危険な状態が明らかになっていくにつれ、他人事ではなくなりま



新たに駐車場が完成しました

決して紙切れ一枚で唐突にお願いした訳ではなく、数年に亘って、寺報や資料送付、委員会議等の綿密な情報提供等でお檀家様に対してご理解をいただくための地道な努力が実ったようないな気がいたしております。

どうか諸改修事業や諸式典が無事円成しますよう、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

合掌

弘長寺護持会

副会長 坂本研次

梅雨明けから猛暑が続いていますが、当地では局地豪雨の被害もなく、夏を迎えることができました。

本堂耐震修改築工事にむけての浄財の拠出に六月を第一回目としてお願い申し上げましたところ、全てのお檀家様よりご賛同をいただくことができました。心から厚くお礼申し上げます。

これから五カ年の長きにわたっての事業でござります。心をひきしめて皆様

と共に荘厳で安全な弘長禅寺本堂の修改築に取り組む決意を新たにいたしましたところであります。今後共よろしくお願い申し上げます。



さて八月はお盆の月です。

親から子へ、子から孫へと絆はつながっています。

お盆はご先祖様に合掌すると同時に、過去無量のいのちと向き合うすがといたしたいものです。



☆見えなくとも

お花を供えたい

☆食べなくとも

美味を供えたい

☆聞こえなくとも

話したい

☆見えざるものへの

真心は美しい

暑さが続きます。

無理をせずに、少し

我慢して清々しい豊穡の秋をお迎え下さい。

合掌

命がけ

坂村真民

いのちがけという

ことばは

めったに使っても

言ってもいけないけれど

究極は

命がけでやったものだけが

残ってゆくだろう

疑えば花ひらかず

信心清浄なれば

花ひらいて

仏を見たてまつる

この深海の真珠のような

ことばを探すため

わたしは命を懸けたと

いつても過言ではない

人間一生のうち

一度でもいい

命をかけてやる

体験を持つ

お知らせ

お願い

●新駐車場完成

弘長寺国道側隣に、新しく駐車場が完成しました。森田家の田(八畝)を法人に喜捨し、梶田寿雄様の田と面積を交換していただきました。四十台位は駐車出来るのではないかと思っております。

なかなか市の河川課が融通が利かず、一メートル幅の大きな排水管をつけないと許可をしないとか、フタをしてはいけないとか、理に合わぬ要求をされ、工事が滞り、困りました。

これで森田家所有の田畑はほとんど法人のお墓と駐車場になり、わずかに灘の畑が少し残っただけになりました。

●弘長寺独自研修旅行には是非ご参加下さい

★第二十号でお知らせしておりました可睡斎への旅行は、交通手段と日程を変更しました。乗り換えが大変だというご意見が多く、全日程を一畑観光バス(ガイド付き)にし、鎌倉方面を断念しました。

東堂様の修行された秋葉三尺坊大権現総本殿・可睡斎を拝登した。拝観だけにさせていただきました。

(一泊を変更しました)泊まりは館山寺(かんざんじ)温泉です。



秋葉三尺坊御真殿

この機会には是非ご参加下さい。そして日本に一カ所しかない日泰寺仏舍利奉安塔にて、お釈迦様の御真骨を拝みます。(奉安塔のみ拝登)

次の日は、商売繁盛のお稲荷様、稲荷(豊川)洞宗妙(お寺)へ参拝し、参りませう(ご参り)をさせていただきます。

☆覚王山日泰寺は愛知県名古屋千種区にある超宗派の寺院である。タイ王国から寄贈された仏舍利(釈迦の遺骨)を安置するために、創建された。「覚王」とは、釈迦の別名。また「日泰」とは、日本とタイ王国を表している。どの宗派にも属していない超宗派であり、各宗派(現在十九宗派が参加)の管長が、三年交代で住職を務めている。(ただし境内北側に設置されている僧堂は、曹洞宗が管轄している)なお仏舍利は、本堂のある境内からやや離れた「奉安塔」の中に安置されている。

(インターネットより転載)それから湖東三山をお参りし

琵琶湖(おごと)温泉に泊まり、最終日は道元様をはじめお祖師様方が修行をされた比叡山延暦寺の根本中堂や道元様がお度々された横川(よかわ)に参りいたしました。

普通の観光旅行では絶対行けない、二泊三日見所満載の旅です。是非ご参加下さい。(三十名予定)最後のページに、BS観光企画の日程を詳しくご案内しております。

●盆棚経

盆棚経は、鏡・弘長寺地区まで終了しました。

今年は浜東からスタート、浜西一池 田一小松一中垣一内ヶ峠一久戸と廻ります。朝七時夕六時迄、徒弟大裕(駒沢大三年)と、いつものように廻れるところまで、十四日は初盆のお宅に参ります。

時間指定はできません。葬儀が出来た場合は葬儀優先です。(但し、十四日を除く)

●秋葉大祭にお出かけ下さい(再掲載)

毎年八月三十一日、午後六時から秋葉三尺坊大権現供養大祭を行っています。

昔は「弘長寺の秋葉さん」と

大い祭きえばお有名で、と寸劇な有劇、どアクトラクショイ道展や、夜店の屋台も多数出店し、場所取りで店どうしの喧嘩もあつたと聞いています。



昨年から読経供養祈願の後、カラオケ大会を始めました。カラオケ業者にセッティングしていただき、音質・音量とも抜群の本格的なカラオケ大会になりました。

大変好評でしたので、今年も同じように開催致します。秋葉三尺坊火難滅除のお札も差し上げます。

昨年は宣伝不足で弘長寺地区の方がおおかっただけですが、他地区の方も是非お出かけ下さい。

●第三墓地の桜と竹藪を整理しました

鏡地区・屋号奥・土江澄雄氏によりボランティアで第三墓地前の竹を伐採していただきました。(氏の会社社員三名と共に四名で三日間)その後業者依頼し、もう少し奥までの竹林伐採と、大量の葉が落ちる桜の木を高さ半分程伐採しました。

お知らせ

お願い

梅花流全国奉詠大会に
参加して

寺族 森田春美

五月十九日・二十日と一泊二日の日程で、大阪「舞州(まいしま)アリーナ」で開催された梅花流全国奉詠大会に参加いたしました。大阪大会は昨年の予定でしたが、新型インフルエンザの影響で中止となり今年の開催となりました。

弘長寺講からは私を含めて四名の参加でした。一日目は大阪城、海遊館を見学し、宿泊は有馬温泉でした。

二日目、いよいよ全国大会です。大会は二日間に亘り行われ、私たちの島根県第二宗務所は二日目です。十一番目の奉詠で曲目は「追善供養御詠歌(妙鐘)」です。

山口智大さんとポリヒムニア・アンサンブルの共演もあり、とても盛り上がりつつた大会でした。

来年は島根出雲の「カミアリーナ(浜山体育館)」で行われます。



平成22年度 梅花流全国奉詠大会 於：大阪・舞州アリーナ 平成22年5月20日

立派な大会になれるように、私達も協力していききたいと思っております。

●境内の弘法修行大師尊像を再建します

喜捨協力をお願いします

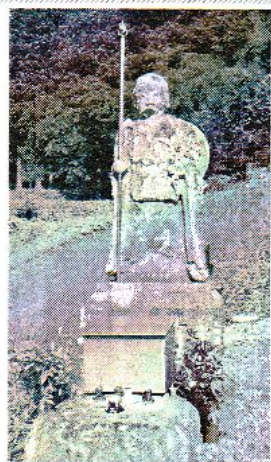
来待地区には古くから御大師講があり、弘法大師が信仰されていましたが、昭

和三年に弘長寺地区や近隣地域の崇敬者有志により、新四国八十八カ所弘法大師霊場からそれぞれ砂を持ち帰り、その上に八十八体の仏像が建立されました。霊場巡りが誕生しました。今も多くの御参りがあり、

この大師石仏八十八体の中心となる石像が、弘長寺の修行大師尊像であります。寺入り口に存在する等身大の修行大師尊像であります。年が経過し、建立から八十三年の同じく風化が進み、平成三年の折れて倒れました。ら折れて倒れました。まの急措置で足をつけないで、おりました。今日まで拝さいたり、わたくし、この度、何となく、この度、何となく、ご加護を祈念して、新たに再建立することにした。

つきましては、八十八カ所の石像、所有者で信心の施主の方々、また弘法大師信仰と仏教信仰に篤い方々、多くの篤信の方々にご志納を求めたいと存じます。像再建立と新しい修行大師尊像再建立と、落慶法要の無事円成に向け、何とぞご理解とご協力をいただきますよ

うお願い申し上げます。



ご志納いただけの方はお寺までお申し出下さい。尊像付近に喜捨芳名板を作ります。なお、志納の受付は、平成二十二年十月末迄とさせていただきます。

又、落慶法要は、平成二十二年十一月二十一日午後三時より、佐倉・岩屋寺様御導師により執り行います。ので、ご参加いただけます。ようご案内申し上げます。

弘長寺弘法修行大師尊像再建事業

発願主

発起人

弘長寺住職

世話人

再建事業

土江貞夫 渡部俊雄 遠藤建

森田裕光

今川光雄

勝田幸夫

武田三幸 高木弘宣

住職は考える

宗派とは何か?③

敢えて
仏教のタブーに挑む

(住職の独り言)

禅宗寺院のお坊さんにとつて、教への通り最低限一日二回の坐禅を(本来は四回)毎日勤行するということも、実は至難のわざでございませぬ。恥ずべきことなのですが、私も朝のお勤めで読経はするけれども、なかなか正式な坐禅にまでは至りません。たまに自室でイスにかけ、数分行うこともありませぬ。正式な坐禅ではありません。月に一回坐禅会を開催して、お唱えする塔袈裟の偈を唱えたりする時が私に返る時でもあります。(回数が増やさねばと思つていいます)私にとつて確かに言えることは、坐禅の後にはすがすがしさと充実感に満ちあふれることです。

かもしれませぬので、飛ばしていただいて結構です。《あまりお話ではないので、かせずにお話ではないので、案外書かない方がよいような気がしますが(そのリスク以上に、道元様示寂年齢を十歳も上回った今こそ言つておかねば、更に何れの時をか待たんと、副題で「あえありません」)と、ありませぬ)、「あえありません」のタブーに挑むと書いておられますし、曾て宗務所でお役をいたさき、この寺報も多くの宗侶(曹洞宗の僧侶)の方が眼を通すものから、むしろ宗侶の方で訴える文だと思つてご覧下さい。》

禅宗という看板を背負い、宗祖から坐禅こそ仏道修行の第一義と示されながら、宗侶でさえ坐禅が日常底となり得ないのが実情です。

その要因としては、確かに教への実践としては坐るべきであり、坐れば宗門の正道を行じている安心と自信がつかつていくことも宗侶は誰も解つていくのですが、何せ即効性が薄い、すぐに目の前が明るくなり、湧き、疾患も即平癒するなど、差はあつてもない。(個人

また痛みやしびれなど苦痛を伴うことが多いので、習慣づけるためには余程の自覚と思ひ入れなければなりません。(最近では柔軟になり、イス坐禅も可となつたので、一般の初心者や足が組めない年配者の方には、苦痛という点では少し楽になりませぬ)

その上、僧堂では坐禅をしても何もならんなどと口宣(説明)を受けたりして



生活の糧に直結してない点や、兼職者が多いというの、大きな要因でしょう。しかし、兼職の方でも志のある方は、毎月坐禅会を行つていらっしゃる方もおられるのです。ともあれ、大多数の宗侶が、年間を通して坐禅をしない、宗門は本当に道元

禅の命脈を護持しているといえるのだろうか。

この実態を、当然宗門は解つていられるのでしようから、何か手を打つていただきたく、と思つたのです。

私は現在曹洞宗が坐禅に就いて本腰を入れて教化布教しているようには全く思へませぬ。

告諭にも布教教化方針にも坐禅という言葉がないのです。坐禅会の看板を全寺院に送つて了としています。

確かに本山や修行道場では、誰もが坐禅修行をします。が、修行期間を終れば、坐禅については宗侶個人の自覚に任せるといふ宗門の姿勢では、とても坐禅の教宣など出来ないと、思ひます。

行の実践の中心である坐禅布教を最要課題と捉え、それに徹してこそ宗祖に対する報恩行が、そして宗門として只管打坐の命脈護持に適うことになるのではな

いでしようか。

坐禅は素晴らしい行であることが解つていながら思ひ出さないというジレンマで思ひ出さないのは、寺報第六号で

ご紹介した板橋禪師様のお話です。住職になり、最初はまじめにお勤めをしていたが怠けるようになってしまった、これではいけないと思い、怠けることのできない環境に自分を置くことを決意、修行道場の役寮となった。

(現在、第二宗務所にも高齢になられてから修行道場の役寮になられた素晴らしい方丈様がおります)

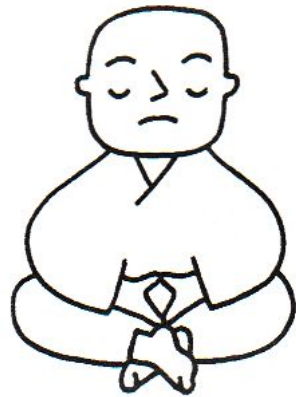
このきっかけが大事なので、私は檀信徒や僧侶が、一度でも多く坐禅をする機会を増やす為には、このせざるを得ない方法(きっかけ)が一番だと思っております。それを宗門の強力な指導でやっていただきたいと切望するのであります。

具体的に言いますと、現在人権学習は、強制的に学習するように教区に対して義務づけられ、教区長が報告書も提出するようになっています。宗門が本当に重要だと思ったからこそ、人権学習せざるを得ない環境が出来上がっているのです。それを宗門の根幹で最も

大切な行である坐禅にも適用させるのです。

一頃、総授戒運動が盛んでしたが、総坐禅会運動を展開すべきだと思っております。

どうしてもいいような印刷物などは不要ですから、もし可能ならば予算をとって宗務庁から各教区に警策と、坐蒲を十個程度送り(あるいは教区で調達し、足りなければ座布団・イスで賄う)、必ず教区主催・各寺院持ち回りでせめて月に一度は教区単位で、檀信徒向けの坐禅会を開催し、写真付きで報告書を提出する。



せざるを得ない環境を作り上げるのです。

坐蒲は教区長が保管し、坐禅会の希望寺院には随時貸し出しをする。

「坐禅会」を奨励し、坐禅を盛り上げていくことが大

切ではないかと思えます。

曹洞宗のホームページに「坐禅のできるお寺」というのが載っておりませんが、島根県第二宗務所は二百ヶ寺中三ヶ寺しか載っていない。(実際はこんな数ではないのだが、本気で調べようとしてもしていない)何をもちて禅宗というのでしろうか、恥ずかしい限りであります。

せめて檀信徒の方がホームページを見られた時に、「お近くの寺院で、どなたでも必ず坐禅ができます」の言葉とともに、問い合わせ出来る近隣の教区長の寺院や近くの寺院等の名を列挙したならば、自分も参加してみようという気になるといえるものです。

こういうことを書けば、それは理想論だといやがられるでしょうが、嫌われようともなお理想論を説く方が少なすぎると思っています。

曹洞宗のスローガンは人権・平和・環境となっております。

私はこれも変えるべきだと思っております。

平和などは強調せずとも宗教者として当然のことで、さして目に見える運動もないのですから削り、まず一番おろそかになっている坐禅、それから人権・環境と続けるべきだと思っております。

最近の宗門は落胆させられる事案(グランドホテル・多々良・駒大)が多いのに加え、「葬式は要らない」などという本がベストセラーになるような時代に対し、宗侶はあまりにも無頓着過ぎるのではないのでしょうか。

修行実践の要となる坐禅の裏打ちがあるから曹洞宗の僧侶の葬式・法事は価値があるのだと、胸を張って言えるようにせしめる宗門の指導力を願いたいものです。

反発を受けるのも必至であり、また、宗務庁は腰が重いので実現には相当困難が伴うと思えるのですが、ならば宗務所ですら対応がでないものだろうか。(お檀家様に対する文章ではなくなりましたことを平にお詫びいたします。)

宗派とは何か? ひとまず完

住職結制について

く住職として最後の出世式

平成二十四年十一月十八日に本堂落慶式に併せて、住職の結制修行をすることになりました。

その結制について簡単にご説明申し上げます。

曹洞宗の僧侶は、修行を伴う式典を通して、必ず左記の段階を経なければなりません。

- (1) 得度(とくど) Ⅱ 落髪して出家となる
- (2) 立身(りっしん) Ⅱ 修行道場で修行を重ねた上、修行僧の集団の中でリーダー役である首座(しゅそ)を一定期間つとめる
(この度大裕がつとめる法戦式のことです)
- (3) 伝法(でんぼう) Ⅱ 師匠の法を正しく伝える
- (4) 瑞世(ずいせ) Ⅱ 兩大本山永平寺、總持寺本山に登り一夜の住職となり、兩祖さまに導師として報恩の諷経をする
- (5) 住職 Ⅱ 一寺の責任者となり、仏に代わって法を人々に説く
- (6) 晋山(しんさん) Ⅱ 新しい住職として、その寺院に正式に入る

(7) 結制(けっせい) Ⅱ 自らの寺で修行僧を集め、一定期間、安居生活を行じるところ
ここで和尚から大和尚となる

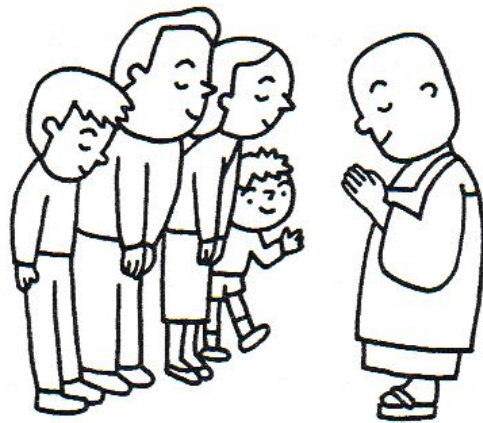
この最後の7番目にある結制が、僧侶として最後の出世儀式になるのです。

結制(けっせい)とは、「安居(あんご)の制を結ぶ」(安居とは約三ヶ月間の修行生活)という意であり、お釈迦様の制定された安居を心ひとつにして仏道修行するということです。



お釈迦様の在世当時、インドの国では雨季の間、祇園精舎とか竹林精舎などの修行道場に多くのお弟子たちを集め、弟子は師に問い、師は後進の修行僧に道を説き、或いはお釈迦様の説

かれた真意と自分の理解を問い直して、仏道を修行していたのです。
おそらく近隣の一般の衆生もお釈迦様の説法を聞くために、たくさん集まったと想像出来ま



だから、「住職さん、あなたの出世儀式だからどうぞご勝手に」ではすまないのです。
お集まりになったお寺様方と共に寺檀一如で修行する姿勢が整って初めて盛儀となるのです。

お釈迦様の時代より、曹洞宗門に連綿としてこの安居盛儀が継承され、今日兩大本山を始め、各地の専門僧堂においても毎年実施されています。
結制のことを「江湖会(ごうこえ)」とも申しますが、この

儀式を行うことで初めて、大和尚という宗門最高の法階資格を得られるのです。

したがって、一ヶ寺の住職として一世一代の晴れの盛典であることは申すまでもありません。
こうした大盛儀である「結制上堂」の中心は、住職が、平常はご本尊様を安置してあります本堂正面の須弥壇(しゅみだん)に登って、大勢の御寺院様や参列の方々の前で、謹んで香を焚き念ずることです。
お釈迦様を始め、丙大本山の御開山様、弘長寺の御開山様、歴代の住職様方に報恩供養のまことを捧げ、広大の慈恩を冀い、国土の安穩を念じます。

また仏法の興隆を願い、併せて檀信徒各家のご先祖様方に供養し、更には檀信徒各家が益々繁栄されますよう心から祈念申し上げます。

また、住職となるためにこれまで研鑽を積み重ねてきた学徳、力量或いは抱負を堂々と発表し、若き修行僧たちと問答を取り交わして、共に真剣に道を問い、答え、その道眼・道力を磨かんとする説法の式も行われるのです。

本年十月には蓮光寺様で、二十四年五月には了知寺様で結制・法戦式が予定されています。
(法戦式の説明は次号にて)

弘長禅寺独自研修旅行日程

B.S 観光作成

秋葉総本殿【可睡斎】参拝と豊川稲荷【妙巖寺】、比叡山延暦寺の旅

日次	期日	行程
1	平成22年 10月13日 (水)	穴道町====<山陰道>====米子 IC====<米子・中国道>==== 6:30 頃発 蒜山 SA8:00~8:15 ====<名神・新名神道>====信楽 IC====信楽(昼)==== 11:20 頃 11:40~12:30 ====信楽 IC====<新名神・東名阪・伊勢湾・東名道>====袋井 IC==== 12:50 頃 ====秋葉総本殿:可睡斎参拝====袋井 IC====館山寺温泉(泊) 15:30~16:30 17:40 頃着
2	10月14日 (木)	館山寺温泉====浜松西 IC====豊川 IC====豊川稲荷【妙巖寺】==== 8:00 頃発 9:10~10:10 ====豊川 IC====名古屋市内(昼)====日泰寺仏舎利塔====小牧 IC==== 11:40~12:30 12:50~13:40 14:00 ====彦根 IC====湖東三山====<琵琶湖大橋>====琵琶湖温泉(泊) <3カ寺の内1カ寺> 17:40 頃着
3	10月15日 (金)	琵琶湖温泉====<比叡山ドライブウェイ>====比叡山延暦寺参拝 8:30 頃発 (参拝・昼食) 【根本中堂・大講堂・横川:道元禅師得度霊蹟】====京都東 IC==== 9:30~12:00 14:00 頃 ====<名神・中国・米子・山陰道>====穴道町 19:20 頃着

楽しい研修旅行にいたしましょう

葬儀の達人なりましょう③は次号にて



訂正

第二十号十一ページ上段 飯塚 茂殿
 三月一日~二月二十七日 月窓慈観大姉・君室浄心大姉
 訂正してお詫び致します

旅費 30名 59,500円